

平成18年度 前橋市埋蔵文化財発掘調査

い・せ・まワールド in 前橋 2006

大型の掘立柱建物跡発見!

元総社蒼海遺跡群(9) (10) 掘立柱建物跡は、東西が28m・南北が6mもあります。人の大きさと比べてみましょう。

今年度も前橋市内の多くの場所で、発掘調査が行われました。多くの作業員さんや地元の方々の協力の下に、暑い夏から寒い冬まで調査が行われました。発掘調査のまとめとして、今までは「前橋の遺跡」という小冊子を発行してきましたが、今回からは両面印刷のパンフレットを作成しました。前橋市のどこでどんなものが発掘で見つかったのか、速報としてなるべくわかりやすくまとめました。たくさんの人にこのパンフレットを見ていただき、昔の人々の暮らしに少しでも目を向け、身の回りにある文化財を大切にしていだければ幸いです。

2006年の

山王廃寺



総社町山王にある山王廃寺は今から1300年前、7世紀に建てられたお寺です。写真は、山王廃寺の中の講堂の基礎(きそ)の様子です。いろいろな土をつき固められているのがわかります。今回の調査で、講堂の大きさは、およそ東西30m・南北24mであることがわかりました。



礎石のかわら

発掘調査では、住居跡、土坑、溝などの具がたくさん見つかりました。発掘調査でく3つに分けられます。

- 1 奈良時代に群馬の中心地だった国府(今は多くの人々が生活していました)。
- 2 前橋市の南部では、平安時代後期に水田。
- 3 赤城山の南側斜面では、縄文時代に狩りしていました。



竈溝(8)



奈良時代の住居跡のカマドです。えんとつは細長く、まわりには土器とやわらかい石を使っています。使わなくなった土器をリサイクルして、家を造っているんですね。とても工夫しています。袖(そで)カマドの手前にある火をたくところの周りの部分)にも石を使っています。じょうぶな家を造っていたんですね。

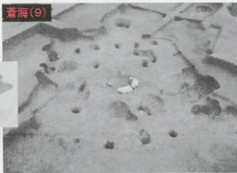


陶文土器

元総社斎海遺跡群 (8)~(12)

前橋市が区画整理を行う(ここでは新しい道路をつくる)前に、昔のものがあらかどうか調べるために、発掘調査を行いました。

竈溝(9)



縄文時代晩期(3,000~2,500年前)の住居跡の場所では初めて見つかりました。縄文さんしました。家の真ん中に石で囲まれた火を使うところ)があって、まわりに柱穴。大昔に人々が生活していたことがわか

竈溝(10)



右側に見える大きな溝(平安時代)は、国府の周りを区切るものと考えられ、ちょうど国府の北側にあたります。この調査から、はば約5m、深さが約2mあることがわかりました。これほど大きな溝を造るのは、大変な作業だったでしょうね。

竈溝(11)



7世紀(600年代)の古墳時代の住居跡です。このころは大きい家がたくさん造られました。粘土と土器を使った大きなカマドとしっかりした柱穴があります。かべぎわには、湿気をとるための溝がほられています。

竈溝(12)



古墳時代から平安時代まで使われてきた。およそ500年の間に時合って造られているのがわか。この場所にには多くの人々が

発掘調査



生活の跡や、おわん、かめ、つぼなどの道具が出土したことをまとめると次のように大きく

（川口市）は元総社町にあり、そこに

調査を行っています。

行われており、はなやかな土器も作られ



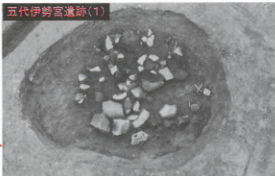
遺跡で、この土器もたくさん見つかります。



の住居跡がたくさん見つかりました。おそろしく、たくさんの家が重なっています。

にしていたのです。

五代伊勢宮遺跡(1)



縄文時代の土坑(食料をしまった穴)がたくさん見つかりました。石や土器も捨てられていました。

以前、この遺跡の東側と西側を調査しました。やはり縄文時代の土坑がたくさん見つかり、円形に土坑が並んでいることがわかりました。

馬場東矢次遺跡



10世紀(900年代)の住居跡です。焼けた木材がたくさん見つかったことから、火事にあつたものと考えられます。また木材の間には、屋根に使われていたワラも見つかりました。他にも縄文時代の住居跡や土器(4000年前)がたくさん見つかりました。



縄文土器

横沢五反田遺跡



縄文時代前半(約6,000年前)の落とし穴です。底の中央に杭(棒)を立てて、シカやイノシシが落ちたらつきささって、つかまえることができるようにしています。生きていくためにとても工夫した仕掛けを作っていたのですね。

石関西田遺跡Ⅱ



平安時代後半の水田跡が見つかりました。白線は水田のアゼです。

およそ東西方向(写真は上が北側)に水田をつくっていることがわかります。約13m×10mの大きさで、今の水田よりも小さなんですね。

広瀬木ノ宮遺跡



古墳時代から平安時代までの住居跡が見つかりました。おそらく倉庫として使われていた掘立柱建物跡も見つかりました。豪族(ごうぞく)の館に關係があるのかも知れません。

発掘調査場所一覧表

2005年度

2006年度

遺跡名	町名	見つかったもの	主な時代	遺跡名	町名	見つかったもの	主な時代
元総社蒼海道跡群(1)	元総社町	住居跡、土坑、溝	古墳～平安	元総社蒼海道跡群(8)	元総社町	住居跡、土坑、溝	古墳～平安
元総社蒼海道跡群(2)	元総社町	住居跡、土坑、溝、墓、井戸	古墳～平安 室町	元総社蒼海道跡群(9)	元総社町	住居跡、土坑、溝	縄文 古墳～平安 室町
元総社蒼海道跡群(4)	元総社町	住居跡、土坑、溝	縄文 古墳～平安	元総社蒼海道跡群(10)	元総社町		
元総社蒼海道跡群(5)	元総社町	住居跡、土坑、溝、墓	古墳～平安 室町	元総社蒼海道跡群(11)	元総社町	住居跡、土坑、溝	古墳～平安
元総社蒼海道跡群(6)	元総社町	住居跡、土坑、溝、墓、井戸	奈良～平安	元総社蒼海道跡群(12)	元総社町	住居跡、土坑、溝、墓、井戸	古墳～平安 室町
元総社蒼海道跡群(7)	元総社町	住居跡、土坑、溝、墓、井戸	奈良～平安	ほばひがしやづぎ 馬場東矢次遺跡	馬場町	住居跡、土坑、溝	縄文 古墳～平安
六供遺跡群	六供町	住居跡、土坑、溝、水田跡	古墳～平安	ひろせきのみや 広瀬木ノ宮遺跡	広瀬町	住居跡、土坑、溝、井戸	古墳～平安
小坂子一木塚遺跡Ⅱ	小坂子町	住居跡、土坑、溝	奈良～平安	ごらいいせあみち 五代伊勢宮遺跡(1)	五代町	住居跡、土坑、溝	縄文 古墳～平安
天神風呂遺跡	茂木町	住居跡、土坑	古墳～平安 室町	いしげきしにだ 石間西田遺跡Ⅲ	石間町	溝、水田跡	平安
川曲柳橋Ⅲ遺跡	川曲町	溝、水田跡	平安	さんおういしじ 山王廃寺	総社町	講堂、回廊、住居跡、溝	古墳～平安
※住居跡(じゅうきょあと)…家が建っていた跡 土坑(どこう)…落とし穴やものをたくわえるための穴 講堂(こうどう)…お坊さんが修行をする所 回廊(かいろう)…寺などの建物を囲む屋根のついた廊下				よこざわごたんだ 横沢五反田遺跡	横沢町	土坑	縄文

BC10000	BC200	AD300	710	794	1192	1338	1573	1603	1668	
旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	平安	鎌倉	室町	安土 桃山	江戸	明治 大正 昭和 平成



文化財保護課では・・・今

古代生活体験事業

大昔の人の知恵や願いを体験しよう！
4つの会場で、縄文土器、まが玉、土偶(どぐう)作りを行いました。
それぞれ世界に一つだけの作品ができました。

出張授業「おもしろ文化財教室」

小・中学校からの依頼を受け、歴史学習のお手伝いをしています。
今年は、勾玉作りや土器作り、古墳での現地学習などを行いました。

大室古墳群市民ボランティア解説員

市民ボランティアの案内による大室古墳群(大室公園内)の見学を
2回行いました。参加した人からは「古墳についてよくわかった」と
好評であり、案内したボランティアも大喜びでした。

～今年度は、こんなことも行いました。
来年度も行う予定ですので、ぜひ参加してください。～

前二子古墳石室復元市民プロジェクト

国指定史跡の前二子古墳の石室内部を、1878年に発掘された当時の姿に再現するプロジェクトを、3年計画で実施することになりました。
1年目の今年度は、土器95点を作りました。窯(かま)で焼いた須恵器(すえき)60点、野焼きした土師器(はじき)35点です。来年度は金属製馬具の復元を予定しています。

前橋市文化財展

「いこしえのロマンを訪ねて 山王廃寺～聖像にこめられた想い～」と題して移動文化財展を行いました。山王廃寺は総社町総社に7世紀(600年代)後半に建てられた古代寺院です。

この寺院から発見された奈良の法隆寺にならぶ聖像(そぞう…粘土で作られた仏像)を展示しました。

●問い合わせ●

平成19年3月31日発行 前橋市教育委員会文化財保護課
前橋市三俣町二丁目10-2 電話027-231-9875-9531 FAX027-231-9862
<http://www.city.maebashi.gunma.jp/>
Eメール bunkazai@city.maebashi.gunma.jp